

平成28年度
危機管理室予算要求方針

【目次】

- 1 平成28年度危機管理室予算要求総括表及び経営方針・・・1
- 2 重点的に取り組みを行う主なもの・・・・・・・・・・・・・・3

1 平成28年度危機管理室予算要求総括表及び経営方針

(1) 平成28年度危機管理室予算要求総括表

平成28年度要求総額【一般会計】 170,495千円
 (平成27年度予算額 193,338千円)
 前年度比 ▲ 11.8%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成28年度 予算要求額 (A)	平成27年度 予算額 (B)	増減 (A-B)
みんな de Bousai まちづくり推進事業	13,220	12,000	1,220
防災啓発事業の推進	11,612	7,751	3,861
DIG(住民参加型災害図上訓練)	1,138	727	411
新 北九州市地域強靱化計画策定	7,484	—	7,484
北九州市総合防災訓練等	11,153	10,728	425
新 福岡県防災・行政情報通信ネットワーク再整備	4,361	—	4,361
新 防災情報収集伝達機能の強化	7,229	—	7,229
被災地復興支援事業	42,934	42,600	334

(2) 平成28年度危機管理室経営方針

危機管理室では、「元気発進！北九州」プラン（北九州市基本計画）に掲げる「災害などに強いまちづくり」に向けて、東日本大震災の教訓と支援の経験等を踏まえた「地域防災計画の見直し」や、住民参加型の防災訓練を積極的に実施するなど、「想定を超える災害でも命を守れる防災体制」の強化を図り、総合的な防災体制の充実強化に取り組んでいます。

また、全国各地における豪雨災害の教訓を踏まえ、市民が自ら「命をまもりぬく」ことができる自助・共助の力の向上につながる事業を進め、地域防災力の充実強化を図ります。

① 想定を超える災害でも命を守れる防災対策の充実強化

課題：地域防災力の充実強化、防災意識の高揚（自助・共助の意識醸成）

方針：東日本大震災や広島での土砂災害、関東・東北豪雨による水害など最近の災害を教訓として、市民の生命を守ることを最優先に、「自分の命は自分で守る」という住民の「自助」意識の醸成と、地域住民が助け合う「共助」による防災対策を推進し、地域防災力の充実強化を図ります。

② 防災訓練を通じた関係機関や地域との連携の強化

課題：防災関係機関等との連携、防災意識や避難行動の啓発

方針：実践的で多様な防災訓練を実施することで、関係機関との連携を強化するとともに、防災意識の高揚、避難行動の普及を図り、地域や市民一人ひとりの防災力を高めます。

③ 災害時の情報伝達手段など防災情報の充実強化

課題：住民への迅速・確実な防災情報の伝達

方針：災害時はもとより平常時より様々な防災情報について提供し、効果的な情報伝達手段について検討します。

④ 被災地（東日本大震災等）への支援

課題：被災地ニーズへの対応、人的支援（職員派遣）の継続

方針：東日本大震災等の被災地では、復旧・復興に向け懸命な取り組みがなされています。来年度も、岩手県釜石市に市職員を派遣するなど被災地のニーズに沿った支援活動を行います。

2 重点的に取り組みを行う主なもの

(1) 想定を超える災害でも命を守れる防災対策の充実強化

- | | |
|--------|--|
| Ⅱ－１・継続 | ・みんな de Bousai まちづくり推進事業
13,220 千円
(事業概要)
災害から命を守るために、自ら命を守る「自助」と地域で助け合う「共助」など地域防災力の向上を図るため、モデル事業を実施するとともに、地域防災の新たな担い手の育成に取り組む。 |
| Ⅱ－１・継続 | ・防災啓発事業の推進
11,612 千円
(事業概要)
防災フォーラムの開催やハザードマップを作成するなど、市民の防災意識の高揚を図る。 |
| Ⅱ－１・継続 | ・DIG（住民参加型災害図上訓練）
1,138 千円
(事業概要)
地震や津波想定、土砂災害警戒区域を対象とした、住民参加型災害図上訓練（DIG）を実施する。 |
| Ⅱ－１・新規 | ・北九州市地域強靱化計画策定
7,484 千円
(事業概要)
国土強靱化基本計画及び県の地域計画を踏まえ、北九州市地域強靱化計画を策定する。 |

(2) 防災訓練を通じた関係機関や地域との連携の強化

- | | |
|--------|--|
| Ⅱ－１・継続 | ・北九州市総合防災訓練
7,434 千円
(事業概要)
近年の集中豪雨や河川氾濫による災害の教訓を踏まえ、地域参加型の訓練を実施し、合わせて関係機関との連携体制の強化を図る。 |
| Ⅱ－１・継続 | ・各区防災訓練
3,005 千円
(事業概要)
各区の地域特性に応じた防災訓練を実施し、地域住民の防災意識の高揚と区における防災体制の充実を図る。 |

Ⅱ－１・継続

- ・避難所体験・運営訓練 714 千円
(事業概要)

災害時における避難所での食事や宿泊環境の確認などを体験するとともに、地域住民と行政による避難所運営を目指す訓練を実施する。

Ⅱ－１・継続

- ・DIG（住民参加型災害図上訓練）（再掲） 1,138 千円

（３）災害時の情報伝達手段など防災情報の充実強化

Ⅱ－１・新規

- ・福岡県防災・行政情報通信ネットワーク再整備 4,361 千円

(事業概要)

福岡県が各市町村や国、県の出先機関と防災情報を共有するための通信システムである福岡県防災・行政情報通信ネットワークシステムの再整備に伴う必要経費を負担する。

Ⅱ－１・新規

- ・防災情報収集伝達機能の強化 7,229 千円
(事業概要)

市総合防災情報システムの災害対応に係る機能を強化するとともに、住民等に対する効果的な防災情報の伝達手段について検討を行う。

（４）被災地（東日本大震災等）への支援

Ⅱ－１・継続

- ・被災地復興支援事業 42,934 千円
(事業概要)

東日本大震災の被災地である釜石市への市職員派遣等、被災地のニーズに沿った支援活動を行う。